

平成 25 年 10 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社メディビックグループ  
 代表者名 代表取締役社長 喜多見 浩次  
 (コード番号 2369 : 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役管理本部長 三坂 大作  
 (Tel: 03-3222-0132)

**当社連結子会社による株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ**

当社の連結子会社である株式会社アニマルステムセルは、平成 25 年 10 月 10 日開催の取締役会において、以下のとおり、同社の子会社である株式会社日本再生医療機構の全発行済株式を取得し、完全子会社化することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

**1. 株式の取得の理由**

株式会社アニマルステムセルは、動物用医薬品の製造管理及び品質管理に関する省令（GCP 省令）に準拠の上、間葉系幹細胞の分離・培養の受託や事務局業務を中心として事業を拡大してまいりました。再生医療分野は、今後、関連法案の改正や品質・安全性に関する基準作りなど事業を推進するうえでの外部環境がダイナミックに整備・改善されていきます。

今回、株式会社日本再生医療機構の全発行済株式を取得することにより、外部環境変化に対して、よりスピーディーに事業の意思決定を行う事が可能になり、これまで蓄積した再生医療に関するノウハウを活かした、新たな事業展開、企業間連携・協業の可能性を追求してまいります。

**2. 異動する孫会社（株式会社日本再生医療機構）の概要**

(1) 名 称	株式会社日本再生医療機構	
(2) 所 在 地	東京都港区海岸 1・1・1	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 窪島 肇	
(4) 事 業 内 容	幹細胞を用いた再生医療事業	
(5) 資 本 金	7,900 万円	
(6) 設 立 年 月 日	平成 23 年 8 月	
(7) 大株主及び持株比率	株式会社アニマルステムセル	52.23%
	株式会社 MKM ホールディングス	47.77%
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社完全子会社株式会社アニマルステムセルが当該会社株式を 52.23%の株式を保有しております。
	人 的 関 係	当社完全子会社株式会社アニマルステムセルの代表取締役である窪島肇が当該会社の代表取締役を兼務しております。
	取 引 関 係	当社完全子会社株式会社アニマルステムセルが当該会社施設において幹細胞培養試験等を行っております。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態		
決算期	平成24年7月期	平成25年7月期
純 資 産	147,000,000 円	46,678,369 円
総 資 産	198,815,000 円	115,020,015 円
1 株 当 たり 純 資 産	9,363.01 円	2,973.14 円
売 上 高	0 円	0 円
営 業 損 失	0 円	109,734,093 円
経 常 損 失	0 円	109,734,017 円
当 期 純 損 失	0 円	110,321,631 円
1 株 当 たり 当 期 純 損 失	0 円	7,026.84 円
1 株 当 たり 配 当 金	0 円	0 円

(注) 当該会社は、平成23年8月の創業時より厚生労働省が推奨する基準に基づいた幹細胞培養施設の建設及び試験・研究培養を行っており、平成25年7月期までは、外部への営業活動は行っていなかった為、試験・研究培養にかかった費用(人件費、地代光熱費、試験用試薬費用など)を資産計上しておりました。平成25年7月期(平成24年8月1日~平成25年7月31日)の決算では、平成26年7月期(平成25年8月1日~平成26年7月31日)において外部へのヒト幹細胞及び動物幹細胞の受託培養事業の営業活動の目的がたった為、これまでに試験・研究培養にかかった費用(人件費、地代光熱費、試験用試薬費用など)を専門家と相談のもと、損失として計上したものです。

### 3. 株式を取得する子会社(株式会社アニマルステムセル)の概要(平成25年3月31日現在)

(1) 名 称	株式会社アニマルステムセル
(2) 所 在 地	東京都小金井市中町2-24-16 農工大多摩小金井ベンチャーポート102
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 窪島肇
(4) 事 業 内 容	幹細胞を用いた動物治療(培養)支援 再生医療、幹細胞の研究開発および細胞製剤の製造
(5) 資 本 金	6,040 万円

### 4. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	株式会社 MKM ホールディングス	
(2) 所 在 地	東京都千代田区霞ヶ関3-6-14	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 銅子正人	
(4) 事 業 内 容	投資事業、M&A アドバイザリー業務	
(5) 資 本 金	1,000 万円	
(6) 設 立 年 月 日	2010年7月23日	
(7) 大株主及び持株比率	代表取締役 銅子正人 100%	
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき資本関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	人 的 関 係	当社と当該会社との間には、記載すべき人的関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。

	取引関係	当社と当該会社との間には、記載すべき取引関係はありません。また、当社の関係者及び関係会社と当該会社の関係者及び関係会社の間には、特筆すべき資本関係はありません。
	関連当事者への該当状況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。

## 5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	8,200 株 (議決権の数：8,200 個) (議決権所有割合：52.23%)
(2) 取得株式数	7,500 株 (議決権の数：7,500 個)
(3) 取得価額	株式会社日本再生医療機構の普通株式：50,025 千円 アドバイザー費用：0 円 合計：50,025 千円
(4) 異動後の所有株式数	15,700 株 (議決権の数：15,700 個) (議決権所有割合：100%)

(注) 取得価額の算定根拠

上記の取得価額は、平成25年9月20日に開示しております「株式会社アニマルステムセルの株式取得(子会社化)に関するお知らせ」に記載しております通り、当該会社の評価をその公正性と妥当性を確保するため、独立した第三者機関である株式会社エスネットワークスに委託しておりました。当該会社は、創業から約2年程しか経過しておらず、これまで事業基盤となる培養施設の整備及び試験・研究培養を行っておりました。そのため、純資産のみで評価するのではなく、今後のヒト及び動物幹細胞培養の受託事業を中心とした当該会社の事業計画を基に類似会社の情報も加味した上、当事者間での協議・交渉した結果、取得価額を決定しております。

なお、平成26年7月期(平成25年8月1日～平成26年7月31日)は、ヒト及び動物幹細胞培養の受託事業の営業活動を開始しております。

## 6. 日程

(1) 取締役会決議	2013年10月10日
(2) 株券引渡期日	2013年10月10日

## 7. 今後の見通し

本件が平成25年12月期の当社連結業績に与える影響は現在精査中であり、判明次第速やかにお知らせいたします。

(参考) 当期連結業績予想(平成25年8月12日公表分)及び前期連結実績 (金額の単位：百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成25年12月期)	189	245	262	284
前期連結実績 (平成24年12月期)	207	168	183	186

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成されており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。